

○後藤守議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

9番菊池伸也議員の発言を許します。

[9番 菊池伸也議員 登壇]

○9番（菊池伸也議員） ただいま議長から発言のお許しをいただきましたので、通告により順次質問をいたします。

現在、国内におきましては、経済対策に懸命に努力をされているところであります。そして4月からは消費税の8%への値上げ、これが経済にどう影響するかは有識者の間でもさまざまな意見があります。いずれにしても本市におきましては、産業振興については着々とやられているところでありますが、その産業振興につきまして2点、観光物産協会の法人化による新たな観光事業の展開について、それから、有害鳥獣捕獲隊構成の現状と隊員養成についての質問をいたします。

最初に、観光物産協会の法人化による新たな観光事業の展開についての1番、法人化による具体的なメリットについてであります。私は昨年3月まで観光物産協会の理事として、また、イベント等の協力員としてかかわりを持っておりましたので、ある程度は承知をしております。確認の意味でお聞きしたいと思いますが、法人化することにより協会にとってのメリットはどんなことが挙げられるのかお伺いをいたします。

次に、2番目としまして、協会独自の事業計画と推進体制についてであります。法人化したことにより、今までは取り組めなかったようなこともできると思いますが、その推進体制についてはどうなるのかお伺いいたします。

(2)としまして、有害鳥獣捕獲隊構成の現状と隊員養成についてお伺いいたします。

最初に、1番の捕獲隊員の高齢化に伴う今後の隊員確保についてお伺いをいたします。捕獲隊は地区ごとに15名編成で構成され、市の要請により年4回で150日以上の出動になるようあります。かなり長期間にわたり活動いたしますので、会社等に勤務されている方などでは仕事に支障を来し無理が生じると思います。今後高齢化がますます進行する中で、隊員確保の必要性が生じた場合の選考方法と確保について、どのようなお考えなのかお伺いをいたします。

次に2番目として、捕獲隊員の負担軽減のための猟銃、わなの更新手数料等の補助の考えについてお伺いいたします。委託料は出ていることは承知しておりますが、銃弾の購入や射撃の訓練、講習等の必要経費を勘案すると、出動しても1日当たりの日当が1,000円ぐらいで車のガソリン代にも足りないような話も聞いております。そこで、今後継続的に隊員の確保や養成を含めて検討していただくためにも、銃やわなの登録更新手数料等を補助するお考えはないのかどうかお伺いをいたします。

続いて、快適な暮らしづくりについて4点お伺いをいたします。

最初に、道路の整備についてであります。県道常陸太田大子線の迂回路の整備についてをお伺いいたします。水府地区を南北に走る常陸太田大子線は、県道29号線と国道461号を結び、地域に住む人々の生活道路として、また、本市の観光産業の道路としても大変重要な役割を果たしていることはご承知のとおりであります。この道路が自然災害や突発的な事故等により道路が

一時的にでも寸断され通行できなくなった場合、地域住民は大きく日常生活に直接影響を受け支障を来します。一部の区間は迂回路が整備されておりますが、まだまだ未整備の部分が多く、計画的に道路改良を行う必要があります。市道吹上戸屋下線の改良工事については、以前にも申し上げたことがあります。住民の快適な暮らしや安全確保のための大変重要な生活道路でもありますので、計画的に改良すべきと思いますが執行部のお考えをお伺いいたします。

次に、(2)の人口減少対策についてお伺いいたします。最近の新聞等で日立市の転出超過(社会減少)数の背景が報道されましたが、本市の状況と今後の人口減少対策についてお伺いいたします。日立市の場合は、雇用縮小や商業衰退で社会減全国2位と新聞等で大きく報じられておりましたが、少子化・人口減少対策を最重点施策に掲げている本市においてはどうであったのか、そして今後、最重点施策への反映はどのようになるのかお伺いをいたします。

続いて、(3)の若者定住促進についてであります。新年度から商工観光部商工振興・企業誘致課が設置されますが、設置の目的と業務内容についてお伺いをいたします。若者定住促進の観点から商工振興や企業誘致に力を注ぐのは当たり前であると思います。元気のある地域を作るためには、働く場の確保こそ最重点課題になります。専門部署として商工振興・企業誘致課や係を設置されたことは大いに期待するところではありますが、先月の全員協議会において組織改革の組織図が提示されましたけれども、その目的達成のための業務内容について、どのような考え方で進められていくのかお伺いいたします。

次に、4番目のグラウンド・ゴルフの推進についてお伺いをいたします。高齢者を含めたグラウンド・ゴルフの普及推進についてであります。最近グラウンド・ゴルフ人口が大変に増えて、大会開催には300人以上の参加者があると言われております。通常は各地区でそれぞれの仲間とともに楽しんでいるようではありますが、グラウンド・ゴルフは若者、高齢者を問わず、誰にでも楽しめるスポーツのようです。このスポーツは個人競技ではありますが、競技を楽しみながら自分の健康管理や仲間とのコミュニケーションを図ることができるすばらしいスポーツであると思います。長期的に考えれば普及推進を継続的に図ることにより、国保等の医療費の削減にも大きく貢献することになるのではないのでしょうか。さらなる普及推進についてはどのように考えていくのか、執行部のお考えをお伺いいたします。

以上で1回目の質問を終わります。

○後藤守議長 答弁を求めます。産業部長。

〔榎村浩治産業部長 登壇〕

○榎村浩治産業部長 産業振興についての中の観光物産協会の法人化による新たな観光事業の展開についてのご質問にお答えをいたします。

まず、1点目の観光物産協会の法人化についてでございますが、現在の常陸太田市観光物産協会は、市町村合併後の平成21年4月に任意団体として設立され、祭り、イベントの企画運営や観光PRを中心とした観光振興等の公益事業に取り組んできております。自主財源が少なく独自性が発揮しにくい状況にあり、協会会員の意向が反映できる運営体制づくりを進める上で収益事業による経営基盤強化を図る必要があることから、公益事業とあわせて収益事業等についても着

手できるよう一般社団法人となるものでございます。

続きまして、協会独自の事業計画と推進体制についてでございますが、独自の事業計画といたしましては、昨年12月に地域振興に関する協定を締結したJTB関東との連携を図りながら、観光物産振興を目的とした着手型旅行や教育旅行を主体とする旅行業や首都圏を対象とした物産販売など、収益が期待できる事業への着手を計画しております。

また、これらの事業により会員自ら旅行商品の企画、販売や首都圏などでの物産販売に参画できることから、新たなビジネスチャンスとともに収益増が見込まれるものと期待をしているところでございます。

次に、推進体制についてでございますが、現在の協会員さんが継続する形で新協会の会員となります。これまでと同様に、会員さんから選出された理事が理事会を組織いたしまして協会の運営に当たることとなります。4月1日からの新体制では現在の会長、副会長がそのまま留任されまして、各支部から選出された新理事10名とともに協会運営に当たることとなります。なお、協会の事務につきましては、事務所をこれまでどおりJR常陸太田駅前にある駅前会館内に置き、各支部につきましてもこれまでどおり各支所内に職員を配置いたしまして、観光物産振興の事務等を進めてまいります。

続きまして、捕獲隊構成の現状と隊員養成についてのご質問にお答えをいたします。

初めに、捕獲隊の高齢化に伴う今後の捕獲隊員確保対策についてのご質問にお答えをいたします。有害鳥獣捕獲隊の高齢化問題につきましては、全国的な課題でもございまして、本市においても捕獲隊員が高齢化しつつあると承知しております。本市の有害鳥獣捕獲隊は現在61名で、平均年齢は約64歳でございます。捕獲隊の確保につきましては、猟友会常陸太田支部及び常陸太田市有害鳥獣捕獲隊と連携を図り、長期間捕獲業務に従事でき、かつ豊かな経験と知識を有し、捕獲、地域の状況等に精通した方々が各地区より選任されてきております。また、新たな隊員となられる方についても同様に、今後選任されていくものと考えておりますので、積極的に選任について関係機関に働きかけをしてまいりたいと考えております。

続きまして、捕獲隊員の負担軽減を図るために、猟銃、わなの更新手数料等の補助の考え方についてお答えをいたします。捕獲隊員の負担軽減のための委託料、補助金等の増額につきましては、今後の研究課題とさせていただきたいと存じます。ご理解を賜りたいと存じます。

続きまして、快適な暮らしづくりについての中の新設される商工観光部の商工振興・企業誘致課の設置目的及び業務内容についてのご質問にお答えをいたします。

現在、商工観光課において取り組んでおります商工振興部門と観光振興部門を2つに分けまして、それぞれの強化を図るものでございます。新設されます商工振興・企業誘致課におきましては、これまでの商工振興業務や市内工業団地等への企業誘致に加えまして、新たな産業の振興や育成を鑑み、廃校跡地への事業所等の誘致、さらには市民の買い物環境改善の一環となるよう中心市街地への商業施設等の誘致を推進し、市内商工業の活性化を図るとともに、雇用の場の創出、確保による若者定住促進につながるよう、さらなる企業の誘致促進を目指すものでございます。

また現在、複数の企業からの引き合いもございましてことから、1社でも多くの優良企業に立地

いただけますよう関係機関とさらに連携を密にし、進めてまいりたいと考えております。

○後藤守議長 建設部長。

〔鈴木典夫建設部長 登壇〕

○鈴木典夫建設部長 快適な暮らしづくりについて、道路の整備について、県道常陸太田大子線の迂回路の整備についてでございます。

県道常陸太田大子線と山田川を挟んで東側に並行して市道水6-05号線があり、県道が通行どめの際には迂回路としての利用が考えられます。本市道は中染町から水府海洋センターがある天下野町1区を北へ向かい、竜っちゃん乃湯がある天下野町6区までが市道認定されておりまして、住民の方が生活道路として日常的に利用されている道路となっています。現在、市では本市道の天下野町6区の吹上戸屋下線につきまして、平成23年度から事業着手し道路整備を進めております。また、天下野町1区、2区の地元町会からもこの路線の改良工事の要望書が提出されておりますので、平成26年度の常陸太田市道路整備審査会へ案件として提出することを考えております。

本市道の延長は、約4,800メートルありまして、改良済み区間も一部あるものの、狭隘箇所、屈曲している箇所、一部車両のすれ違えない箇所などが幾つもございますので、道路延長が長いため一律幅員5メートルの改良工事で拡幅する道路整備をするのではなく、今後部分的に解消が必要な箇所を地元からの要望、ご意見、土地所有者の方のご協力をいただきながら解消する整備を進めていき、地元住民の方を初め、市民の皆様の快適な暮らしづくりや安全確保に努力してまいりたいと考えております。

○後藤守議長 総務部長兼政策企画部長。

〔佐藤啓総務部長兼政策企画部長 登壇〕

○佐藤啓総務部長兼政策企画部長 日立市の転出超過の報道に関連して、本市の状況と今後の人口減少対策についてのご質問にお答えいたします。

議員のご発言にもございましたように、総務省が本年1月30日に公表した2013年の「人口移動報告」において、日立市は全国第2位となる1,485人の転出超過を示しましたが、本市の状況については、転入が1,105人、転出が1,380人で、275人の転出超過となっております。

ご承知のように、平成16年12月の合併時において、本市の常住人口は6万548人を示しておりましたが、その後は出生・死亡による自然動態はもとより、転入・転出による社会動態においても減少傾向を続け、本年3月1日現在の常住人口は5万3,440人でございます。

本市では、平成22年4月から政策企画部企画課内に少子化・人口減少対策係を設置し、少子化・人口減少対策を市の最重要課題に位置づけて若者子育て世帯の経済的な支援の充実や子育て支援、子育て環境の充実などを積極的に進めてきているところでございます。

なかなか人口指標などにおいて成果があらわれるといったところまでには至っておりませんが、定住対策の状況を申し上げますと、新婚家庭への家賃助成については、月額1万円の助成でスタートしました平成22年度は35件、74人の方に申請いただきましたけれども、平成24年度

に助成額を月額2万円に引き上げまして、あわせて一時助成金の制度、引っ越し等に係る費用として上限6カ月分を前渡しで交付する制度を導入したところ、倍増の78件、177人の利用申請となり、本年度は2月末時点で既に93件、205人の申請がございます。

また、3年間の家賃助成期間が終了する方を対象に、助成終了後についてのアンケートを行ったところ、約82%の方が引き続きそのアパートに住む、あるいは市内に住宅を持つといった回答が得られており、一定の成果が上がっているものと考えております。

また、平成23年度から市内に住宅を取得した子育て世帯等に対して、定住促進助成事業として固定資産税の半額相当額を3年間助成する制度をスタートしましたが、平成23年度97件、24年度101件、25年度123件と伸びを示しており、本年度から住宅取得時に最大20万円を助成する制度に内容を改めましたところ、2月末現在で既に114件の交付決定を行っており、そのうち43件、37.7%が市外からの転入世帯となっております。

本市ではこうした経済的な支援策のほかにも、結婚から妊娠、出産、医療、子育てと切れ間なく支援する体制を総合的に整備するという考え方のもとで各施策を展開しておりまして、短期的ではございますが、昨年11月における社会動態が5年ぶりに増減ゼロといった状況が見られるようになってまいりました。前段で申し上げましたように、まだ十分な成果が上がっているとは言えない状況にございますが、本年4月から新たに設置される少子化・人口減少対策課を中心に、関係課等で構成される少子化・人口減少対策プロジェクト及び行政分野ごとに編成されるワーキングチームなどを活用しながら、より強力に少子化・人口減少対策に取り組んでまいります。

また最近では、88名に及ぶ「子育て上手常陸太田推進隊」の皆様が、ボランティアで市の子育て支援策等のPR活動を行ったり、あるいは市内に支店を有する金融機関が本市の少子化・人口減少対策を応援するためのさまざまな金融商品を創設したりと、少子化・人口減少対策が官民一体となった取り組みに発展してきておりまして、大変喜ばしく感じているところでございます。今後も引き続きそうした皆様方との連携を図りながら、市内外に向けてプロモーション活動を展開するなど、オール常陸太田で少子化・人口減少対策を進めてまいりたいと考えております。

○後藤守議長 教育長。

〔中原一博教育長 登壇〕

○中原一博教育長 高齢者を含めたグラウンド・ゴルフの普及推進についてのご質問にお答えいたします。

グラウンド・ゴルフはいつでも誰でも誰とでもできるスポーツとして市民の皆様が親しまれているところでございます。教育委員会においては、平成4年度より今日までニュースポーツ普及推進の一環として、スポーツ推進委員の方々の協力により年3回から4回の巡回スポーツ教室や、地域からの要請により実技普及に出向いてグラウンド・ゴルフの普及推進に努めているところでございます。

また、平成12年度より山吹運動公園において市民グラウンド・ゴルフ大会を開催し、競技を通して市民の方の交流並びに普及推進を図っております。平成21年度においては、約180人だった大会参加者が今年度においては40の団体や個人の方からの申し込みがあり、約300名

の方が参加して競技を行うなど毎年参加者が増えている状況でございます。また、地域の皆様においては、日ごろから山吹運動公園運動広場や松平運動公園自由広場など、身近にある運動広場等において年間を通して生き生きと練習されている姿が見られているところでございます。

今後は子どもから高齢者の方まで幅広い年齢層の方々により一層グラウンド・ゴルフに親しんでいただき、市民の皆様が楽しく健康で生き生きと生活ができますよう、地域の状況等を踏まえながらスポーツ推進委員の協力による巡回指導や地域の要請に応じた普及指導、あるいは専門指導員による研修等を行ってグラウンド・ゴルフのさらなる普及推進を図り、市民の皆さんの健康づくりの一環として一層充実させてまいります。

○後藤守議長 菊池議員。

〔9番 菊池伸也議員 質問者席へ〕

○9番（菊池伸也議員） 2回目の質問に移らせていただきます。

最初に、法人化による具体的なメリットであります。これに関しては先ほど申し上げましたとおり、私は現在も観光物産協会の会員でありまして、ご答弁の内容は理解をいたしました。観光物産協会が本市の産業振興を図る上で大変重要な役割を果たしてきたことは言うまでもありませんが、さらに法人化され、さまざまなことを事業としての取り組みが実現可能となるわけでありますから、より元気な常陸太田市を目指して、会員の整備であったり事業の運営であったり、新たな事業計画と事業のすばらしい展開ができるように要望しておきます。

次に、推進体制については理解をいたしました。

続いて、有害鳥獣捕獲隊の現状と隊員養成についての1番でありますけれども、地区によってはありますが、捕獲隊員の年齢にかなり隔たりがあるような気がします。今ちょうど狩猟期間ではありますけれども、狩猟期間が終わり畑などに作付されますと、まもなくイノシシなんかは出てくるのではないかと考えております。そういう中で、捕獲隊に円滑に活動していただくためには、常に捕獲隊の構成に気を配っていただかなければならないと考えております。

現在のところ事故による欠員が1名あるということでありまして、これから何年か先にまた新たな隊員構成を考えなければならないような状態も生じてくるわけでありまして、その際、猟友会等から選ぶことになると思いますけれども、現在わかっている範囲で結構でございますので、猟友会のメンバーはどのぐらいいるのか、あと年齢がどのぐらいかわかれば。わからなければ結構です。

○後藤守議長 答弁を求めます。産業部長。

○樫村浩治産業部長 先ほどご答弁申し上げましたとおり、捕獲隊員につきましては、134名おられます猟友会の方の中から豊富な経験と知識を有し、かつ5年以上経験されるなど一定の基準を持った方を捕獲隊員として選任いただき、市のほうでお願いをしているという状況でございます。

また、捕獲隊につきましては、先ほど申しましたように確かに高齢化をしておりますが、地区によってさまざまな年齢構成になってございます。里美地区が他の地区に比べて若い構成にはなっているかと思えます。

以上でございます。

○後藤守議長 菊池議員。

○9番（菊池伸也議員） 捕獲隊員の負担軽減のための猟銃、わなの更新手数料の補助についてお伺いいたします。これは今後の研究課題であるというご答弁でございましたが、有害鳥獣による被害は、捕獲対策として捕獲隊が賢明な活動をしていても年々増加する数に追いつかないのが現状であると思います。今後さらなる捕獲対策を継続的に進めていくためにも、隊員の負担軽減を真剣に検討されることを強く要望しておきます。

次に、快適な暮らしづくりについての道路整備、1番の県道常陸太田大子線の迂回路の整備についてであります。これは答弁にもございましたが、非常に狭隘な部分が長くあります。町会長さんの要望した時点からはかなり年月がたった状態で、工事そのものはまだ始まっていないんじゃないかと思いますが、これからやっていただけるものと信じております。実際に町会長さん方に要望を受けた時点で、執行部としては要望箇所についてはどういう点検をされているのかお伺いしたいんですが。

○後藤守議長 答弁を求めます。建設部長。

○鈴木典夫建設部長 道路改良をする要望箇所が町会長さん、地元から上がってきたときには、その後、建設課の改良グループが現地の状況を確認しております。そしてその道路の整備については、先ほども申しあげました道路整備審査会に上げまして、そのときに現況の写真とか幅員、屈曲部とか狭隘部について調査した結果を審査会の中で報告します。市内10路線以上がそのときに上がってきますので、その中で優先順位を付けて整備をしていくというような形を毎年行っております。

○後藤守議長 菊池議員。

○9番（菊池伸也議員） 優先順位の付け方でありまして、利用者数、あるいは通行量等の考え方からいくのかどうか分かりませんが、かなり危険な場所もあるわけです。そういうところを勘案していただけるのかどうかお伺いします。

○後藤守議長 答弁を求めます。建設部長。

○鈴木典夫建設部長 最初に答弁しましたように、全部の区間4,800メートルを一律5メートルということではなくて、屈曲部、部分的なところの改良をすることによって解消できるやり方で進めていくほうが、路線としての採択をして整備するには費用と時間がかかりますので、まず、そういう危険箇所についての部分的な改良、改修でこの路線については手がけていくべきだと考えておるといことでお話ししたわけなんです。

○後藤守議長 菊池議員。

○9番（菊池伸也議員） はい、わかりました。私も全部5メートルに改良してくださいということではないんですが、現在入っている狭い側溝を長尺に入れかえただけでも車がスムーズに通れるような改良ができると思うんです。そういうことを踏まえて、できるだけ距離を延ばしていただけるようなことを要望しておきます。

次に、人口減少対策についてであります。これについては本市の少子化・人口減少対策が最

重点施策だということは承知しております。新聞等でも2040年には3万5,000人ぐらいになるということですので、これからますます大事な施策として取り組んでいただけるよう要望しておきます。

次に、若者定住促進についてであります。先ほどの少子化・人口減少対策と同様に、若い人にこの町に喜んで住んでいただくためには、雇用の場の確保が最重要課題であると思っております。そして、市での取り組みも工業団地ばかりではなく、中心市街地の商業施設の誘致、あるいは学校の廃校跡地への企業の誘致等、さまざまな形で取り組んでいただいているのは承知しております。その中で1つだけ要望しておきたいと思いましたが、これからまだ学校の統廃合が行われるような状況ですけれども、地域のためになるような、地域の人が働けるような企業の誘致を心にかけておいていただけるよう要望して、この件については終わらせていただきます。

次に、グラウンド・ゴルフの推進についてであります。先ほどご答弁にありましたように、担当課の一生懸命なご努力により、急激にグラウンド・ゴルフ人口が増えていることは事実であります。そういう中で研修会であったり、あるいは指導者の養成に取り組んでいただいておりますけれども、場所の確保について、大会の数を自分たちでも管理できるような場所が欲しいという声もあります。そういう中でなかなか公認のグラウンド・ゴルフ場をつくるのは登録料もかかるし大変難しいと聞いておりますので、この点に関してはあきらめてもらうしかないのかなと思いい、そういう説明をしようかと思っております。

しかしながらグラウンド・ゴルフに関しましては、短い距離、公式の数字で2.4キロのコースになるわけですけれども、その中で地域の仲間たちというか知り合いが集まってプレーを楽しんでいるわけでありますので、非常にコミュニケーションがとれる。かなりやっている仲間の皆さんは、近隣の市町村まで出て行ってプレーを楽しんでくるという話も伺っております。以前のゲートボールなどと比較をしますと、個人競技ではありますけれども楽しんでいる方が多いようです。

今現在、指導員や審判の養成はどのようにやられているのかお聞きしたいと思います。よろしくをお願いします。

○後藤守議長 答弁を求めます。教育長。

○中原一博教育長 ただいまございましたように、グラウンド・ゴルフは、本当に身近にできるスポーツ、健康づくりには最適であります。これを普及するために、今中心となってやっておりますのはスポーツ推進員さん、市内に39名おります。この人たちにまず専門的な技術を理解していただいて、各地区に広めていくということで考えております。さらにスポーツ推進員さんのほかに、市民の皆さんの中にぜひ指導員として自分はやってみたいという人がおりましたら、また養成を考えていきたいと思っております。

○後藤守議長 菊池議員。

○9番（菊池伸也議員） 指導員の養成については理解をいたしました。

それから、場所の提供ですが、学校のグラウンドなども貸し出すようなことでよろしいのでしょうか。



○後藤守議長 答弁を求めます。教育長。

○中原一博教育長 基本的に学校は授業に使う教育課程内での施設であります。支障のない限り貸し出している学校もありますので、その辺については学校と地域のグラウンド・ゴルフを愛好される方々の話し合いの中で進めていけばいいのかなと思っております。

○後藤守議長 菊池議員。

○9番(菊池伸也議員) 学校施設ですから、当然授業のある日は遠慮すると思えますけれども、日曜日等、もしそういうことで使いたい人があれば、ぜひとも貸し出しをお願いしたいなと思っております。

また、山吹のグラウンドは休みが月曜日になります。この日も自分たちで大会を企画したいので借りたいんだというような方もおりますけれども、こういう貸し出しについては話を聞かれたことはないですか。

○後藤守議長 答弁を求めます。教育長。

○中原一博教育長 ただいまのご質問ですが、具体的には私のところまで届いておりませんので、その辺も精査して対応させていただきます。

○後藤守議長 菊池議員。

○9番(菊池伸也議員) 私は直接話を聞いていますが、休みで扉も閉めるので、その管理上から貸し出しをしないのか、あるいは何らかの理由があるのか、ちょっとお伺いしたいんですが。借りたいという人が電話で調整をしたらしいんですが。

○後藤守議長 答弁を求めます。教育長。

○中原一博教育長 そういうお声もあるようですけれども、一応施設の休館日ということで閉じておりますので職員はおりません。そこで何か事故等がありましたら補償等もかかわってまいりますので、その辺について声等を精査してまいりたいと思っておりますが、基本的には休館日ということでご理解いただきます。

○後藤守議長 菊池議員。

○9番(菊池伸也議員) わかりました。お話を聞いたところ、実際に芝生の養生とかそういうこともあっての休館だろうと担当者にはお伺いしたんですが、借りたい人はそうは思わないので、これはどうしても貸し出しはできないんだとはっきりと言ってもらえればいいのかと思いますけれども。

実際借りて自分たちで大会の運営までやりたいんだという話を聞いたものですから質問したわけですが、あれだけ大きい場所がなかなかないので、仲間で練習する程度であれば小さい場所間で合うんじゃないかと思うんですけれども、グラウンド・ゴルフは先ほども申し上げましたように、若者、高齢者を問わず楽しめるスポーツということで、ぜひ今後とも普及推進について励んでいただけるよう要望しておきます。

以上で私の質問を終わりにします。